

ペガちゃんフロ2「自然の家で探そう 遊ぼう 作ろう!」【小学1年生活科】

ねらい	生活科学学習指導要領第内容（５）「身近な自然を観察したり，季節や地域の行事にかかわる活動を行ったりなどして，四季の変化や季節によって生活の様子が変わることに関心し，自分たちの生活を工夫したり楽しくしたりできるようにする。」，内容（６）「身近な自然を利用したり，身近にある物を使ったりなどして，遊びや遊びに使う物を工夫してつくり，その面白さや自然の不思議さに関心し，みんなで遊びを楽しむことができるようにする。」
概要	南薩少年自然の家周辺を散策しながら木の実などを集め，遊んだり，創作活動を楽しんだりすることができる。
よさ	○ 当所の自然環境や研修主事による豊富なクラフト活動の体験を通して，児童の学習意欲の向上と学習活動の充実が図られる。 ○ 小学校初期段階での公共施設の利用の仕方や集団行動など学ぶ機会となる。 ○ 学校内では収集できない木の実や葉などを集めたり，それらの活用法などに触れたりする機会となり，学校内での学習活動以上に，ダイナミックな学習の展開が期待できる。 ○ 特別活動（一日遠足）等との組み合わせにより，効果的な授業時数確保の一助となる。

- 校種・学年 小学校 第1学年
- 教科 生活科
- 領域 (5), (6)
- 展開 (例)

過程	主な学習活動 ※（ ）…指導者	時間(分)	指導の手立て
導入	1 南薩少年自然の家の敷地内にある植物等やその後につくるクラフト等についての説明を聞く 2 学習のめあてをつかむ。(引率者) しょうねんしぜんのいえで，いろいろなあきをみつけて，たのしくあそぼう。	10	○ 所員が敷地内の植物（葉や木の実）等や創作活動について説明する。 ○ 自然散策等における安全指導を行う。 ・虫対策（むやみに捕まえない等）。 ・川や海に近づかない。 ・単独行動をしない。 ・トイレの場所や水分補給について。 ・集合時刻の確認。など
展開	3 グループごとに自然散策に出発する。 ※ どんぐりやまつぼっくりの落ちていそうなところをグループで相談しながら散策する。 ※ 木の実などを入れる袋を持参する。 4 集めたどんぐりや松ぼっくりを使って遊んだり，創作活動をしたりする。	105	○ 引率者は，巡回や見守り場所において，グループの様子を確認しながら，どんぐりやまつぼっくりの落ちていそうな場所に導くなどする。（樹木マップ有） ○ どんぐりや松ぼっくりを使った遊びや，創作活動を紹介し，簡単な作り方を説明する。 ○ 道具の使い方など安全指導をする。 ○ お互いに作品の創意工夫点を見つけ，称賛し合える雰囲気づくりに努める。
終末	5 完成した作品の鑑賞会を行う。 6 活動を振り返る。(引率者) ※ 秋を見つけた中で，気づいたことなどを発表する。	20	○ 引率者は，学習の中での気づきや発見などをメモしておき紹介できるようにしておく。

- 事前に準備するもの
 （自然の家）： どんぐりやまつぼっくりを使ったクラフトの使用道具
 （学 校）： 野外活動のしやすい服装，雨具